





"TREE or LEAF?"

出張・観光・アクティビティ。宿は眠る場所。

私たちは自分自身で創造した加工・編集済みの世界を生きている。

スコトーマからの解放。それが私たちがご案内する非日常の世界。 変わるのは世界の方じゃない。

ここBRAMAREこそがあなたの目的地です。

チェックアウト後にもう一度尋ねましょう。

[TREE or LEAF?]



"TREE or LEAF?"

かつて森林だったこの地に私たちは大樹BRAMAREを植樹します。

この街に再び根を張り、ゲストが年輪のように想い出を刻みながら街と共生してゆくのです。

"TREE or LEAF?"

北広島市の木として指定される"かえで"の花言葉は「大切な想い出」。

ゲスト1人1人の形も色も違う想い出は大樹BRAMAREを鮮やかに茂らせるのです。



この街と共生する。

この世の森羅万象は例外なく、"何かの一部"に過ぎません。

ヴィラとBRAMARE BRAMAREとF VILLAGE F VILLAGEと北広島市 …

そんな個と群,一部と全部の関係を"葉と木"に集約して、象徴的な表現を試みました。

私たちを受け入れてくれたこの土地・人・歴史に敬意を払い、

私たちはこの街とともに在り続けます。

それは旅の目的地となる。

ホテルとヴィラの違いは何か。

それは、「旅の目的地となり得るか。」だと思う。

限られた面積を提供するホテルでの宿泊は、目的が"客室の外"にあることがほとんどだ。

一方、私たちが目指すのはBRAMAREそのものが旅の目的地となること。

ヴィラの特性を活かした宿泊体験がここにはあります。

TREE or LEAF?

人間の脳は膨大すぎる情報処理によるパンクを防ぐため、「認識するのは自分にとって重要なこと」と フィルターを自動生成し、脳を守るための安全装置がある。

この時、選ばれなかった情報は「見えてるけど見えないもの」「感じているけど感じられないもの」 先人はこれをスコトーマ(心理的盲点)と呼んだ。

世界を変えるのは容易ではない。でも"世界が変わる感覚"ならあなたは知っている。 あなたが欲しいと思っている車と街中で何度もすれ違うのは、風景に溶け込んでいたものが見えるようになったから。

私たちがご案内する非日常はそんな世界。

宿を後にする時には、木が葉になっているかも知れません。



Designer's Comment

世界を視野に入れたF VILLAGE内の施設ということで、 初期構想の段階で、「言語を超越した表現」がしたいと考えました。

幼少期に体験した「だまし絵」からインスピレーションを受け、 多義図形(1つの図形でありながら2種以上の見え方が可能な図形。) を描くことで年齢や国籍を超越するロゴを追求しました。

1つのロゴマークに異なる2つの視点を併存させ、その解釈は見た人に委ねるというプロセスに重ねて、

BRAMAREでの宿泊体験は宿泊時間のみの一過性のものではなく 日常(宿泊後)へと連続性をもつ非日常(宿泊)。 フィルターの変容による世界の再解釈で、世界は変わる。

そんなメッセージを込めました。

大塚 舜

